

令和4年度第1回美祢市行政改革大綱推進委員会 会議録(概要)

日時 令和4年8月1日(月)14時30分～16時35分

場所 本庁3階 委員会室

出席委員 米岡委員、井上委員、小池委員、宮崎委員、宮崎委員、品川委員、田中委員、梨木委員、村上委員、竹下委員、矢田部委員

事務局 デジタル推進部 志賀部長、デジタル推進課長 竹内、藤本班長
総務企画部 総務課 中嶋課長、西村班長

1 開会

2 会長あいさつ

3 新任委員の紹介

田中局長(山口県宇部県民局)から新任のあいさつがあった。

4 議事

(1) 第三次美祢市行政改革大綱の令和3年度の進捗状況報告について

- ・ 行政改革大綱実施計画の進捗状況を事務局(デジタル推進課)から説明。定員管理計画については、総務課職員から説明。
- ・ 委員からの質疑(要旨)

委員 計画の12ページの採用計画のところ、前期と後期で数値が大きく変わるのなぜか。退職者の影響か？

事務局 現在、定年退職で再任用となっている職員がこの期間に退職していく関係で人数が増加しているためである。

委員 現状他の市町村と比べて1万人あたりの職員数が少ないということであったが、全国的にも少ないのか？ また、人口の減少トレンドと職員数のトレンドは合致しているのか？

事務局 職員数が少ないのは、国のモデルと比較した場合である。類似団体と比較すると多い状況にある。また、計画は随時見直しを行うので、人口が想定以上に減ればそれに合わせた職員数になると考える。

委員 定数は削減していく計画となっているが、今後の業務量はどう考えているか？

事務局 業務量は増える傾向にある。行革の取組等により省力化を図り対応するべきものと考えている。ただし、この計画中には、業務量の増加であるとか、省力化については見込んでいない。

委員 ICT化やDXの取組など、業務の進め方を大きく変える場合は、一時的には業務量が増えるが、浸透すれば余剰が生まれるのではないか。定員管理の考え方は如何に。また、業務に対する意識改革について、研修を通じて進めるとあるが、具体的にはどうやって行うのか。

事務局 ICT等の活用による効果は不透明なところがあるので、様子をみながら、定員管理に反映させていきたい。また、意識改革について、現状では職員が入庁してから

管理職に至るまでの間、どういう研修を受けさせるかあらかじめ設定しており、それに応じて職員の育成を図っている。

委員 ICTの活用により民間活力及び会計年度任用職員の積極的な任用という方向になると考えるがそのあたりは如何に

事務局 ICTの活用により、省力化が成され、常勤の職員でなくとも会計年度任用職員で賄えるのであれば積極的に活用したい。ICTによる業務の効率化については、効果の測定を積み重ね検証を行っていききたい。

委員 収納率のところで、有線テレビのところのみ落ちている。なぜか

事務局 有線テレビの使用料は私債権であるため、他の税・料のように簡単には不能欠損できない。さらに、債権管理条例やマニュアルに従って債権放棄に至るものも該当がなく、苦慮している。しかしながら、この状況を放置できないと考えており、滞納整理業務を強化するとともに、今後は法的措置、訴訟を視野に入れて取り組む必要があると考えている。

委員 マイナンバーカードの取得率は、美祢市は全国や県を下回っていると思うが、今後すべての市民が取得するという計画になるのか

事務局 美祢市DX推進計画では、令和4年度中に90%の市民取得を目標としている。

・ 委員からの意見

委員 職員の年齢構成にばらつきがある。中途職員(社会人経験者)の採用などで調整し均衡を図る取り組みを検討する必要があると考える。

(2) 第三次美祢市行政改革大綱実施計画の一部変更について

- ・資料に基づき事務局から説明
- ・委員からの質疑(要旨)
特になし
- ・一部変更について承認

(3) DX推進計画の令和3年度進捗状況及び令和4年度計画について

- ・資料に基づき事務局から説明
- ・委員からの質疑(要旨)

委員 R3年度のドローンの実証実験について令和4年度はどのような展開がなされるのか？

事務局 担当課による実証実験の検証では、買い物支援という形でのドローンの活用は現状では困難という評価となっている。しかしながら、参加した地区住民の意見や、様々な部署の職員がドローン活用の知見を得たことは成果であったと考える。

なお、ドローンについては、今後とも医療、福祉、防災等、幅広く活用の可能性について検討することとしている。

委員 RPAについて、定量的にあまり効果が望めるものが本市にはないとの説明があったが、項目から外してもよりのでは？

事務局 昨年は、住民情報系の業務のRPAの検討を行っていたが、本年度は、LGWAN系の業務での取り組みをしており、具体的には人事給与関連の事務についての取組を進めており、取組の効果を発揮したいと考えている。

委員 美祢市の活性化にあたり、外から若い世代の人が住みたいと考えるとき、ネットの環境が不十分ではないかと考えている。

事務局 インターネットの環境や携帯電話の通信エリアなどについて、本市では、民間が積極的に入ってくる環境には無いため、市の方からの整備に努めている。近年では、観光施設や公共施設における Wifi 整備を進めており、公共施設における整備については、県内トップクラスの状況であると考えている。

委員 防災アプリ等での行政の情報発信を行われていますが、音声告知放送などの耳から入る情報の発信も重要であると考えている。戸別受信機等のことについて確認したい。

事務局 音声による告知手段は、各公民館における屋外スピーカーの設置を現在整備中です。また、それに併せ、戸別受信機を希望者に配布する予定で、いままでの告知放送のような運用を考えている。

委員 公式ラインについて、疑問があることをコメントして、それに対して返答してくれるような機能はあるのか？ごみの分別など便利と考えるが。

事務局 通常のラインのトーク機能として、その仕組みはありませんが、同様の機能を公式ラインのメニューにアプリとして配置している。

・委員からの意見

委員 光ファイバーの整備やWifiの整備が進められていることは分かったが、企業や市民にもっと活用してもらうためにも、宣伝しなくてはならないのではないかと。宣伝をもっとした方がよい。

委員 DXの施策を市民に分かるように伝えることはとても大事なことであると考える。DX推進計画に掲げている取組が住民の皆さんにどう役に立っていくかということを中心に事業を進める必要があると考える。

(4)その他

事務局から今後のスケジュールについて説明

16:35 閉会